

大音生活にもっと“キラリ”を♪

# MUSE

1 Vol.255  
January  
2021



## コロナの時代でも 生の音楽を 届けたい!



MUSE

January 2021  
Vol.255

生の音楽を届けたい!

学校法人 大阪音楽大学広報課 MUSEJ vol.255 2021年1月15日発行 <https://daion.ac.jp>  
発行: 学校法人 大阪音楽大学 〒554-8555 豊中市内津町1-18 TEL: 06-6334-2204 FAX: 06-6334-2141  
制作: 編集: 広報室 [muse@daion.ac.jp](mailto:muse@daion.ac.jp) 制作協力: 印刷: (株) 高屋才力印刷

大阪音楽大学

### 大阪音楽大学主催公演

大阪音楽大学コンサート・センター  
TEL: 06-6334-2242

開催日時・出演者の変更になる  
可能性があります

2020年度の本学主催公演は、新型コロナウイルス感染症の流行拡大防止のため、一部の公演を除いて、学内関係者および出演者の関係の方のみ入場可とさせていただきます。

#### チケット申込システムを リニューアルします

本学では新型コロナウイルスへの感染リスク低減と、お客様の利便性向上を目的に、公演チケットのオンライン申込システムを一新し、電子チケットを導入しました。詳しくは本学ウェブサイトから「演奏会情報」のページをご参照ください。

#### 《ご案内》

2021年4月より、コンサート・センター窓口および公演当日の窓口にて有料券をお渡しする場合、チケット1枚につき300円(税込)の手数料をいただきます。(在学生・教職員・音楽院生を除く)

### 第29回 電子オルガン&作曲デザイン・コンサート

1/24(日) 15:00～ ●電子オルガン専攻・コース、作曲デザイン・コース生他 ●OH ●学内関係者および出演者の関係の方のみ入場可 ●無料(要 電子チケット)

### ポピュラー・コース・コンサート

1/27(水) 18:00～ ●ポピュラー、ヴォーカルパフォーマンス、ポピュラーインストルメント・コース生他 ●サンケイホールブリーゼ ●一般入場可 ●1000円(全自由席) ※高校生以下は無料招待

### ピアノ演奏家特別コース修了演奏会

2/2(火)、2/3(水) 両日17:00～ ●ピアノ演奏家特別コース4年生 ●OH ●学内関係者および出演者の関係の方のみ入場可 ●無料(要 電子チケット)

## CONCERT SCHEDULE

演奏会やオペラなど、大音関連のイベント。

### ジャズ・コンサート

2/10(水) 18:30～ ●ジャズ専攻・コース生他 ●常翔ホール(OIT梅田タワー3階) ●一般入場可 ●1000円(全自由席) ※高校生以下は無料招待

### 第32回 大阪音楽大学学生オペラ

D.チマローザ「秘密の結婚」(原語上演・字幕付)  
2/19(金)、2/21(日) 両日14:00～ ●指揮: 松下京介、演出: 井原広樹、合唱: 大阪音楽大学合唱団、管弦楽: 大阪音楽大学管弦楽団 ●OH ●学内関係者および出演者の関係の方のみ入場可 ●2500円(全指定席) ※高校生以下は無料招待

### ザ・ストリング・コンサート

3/1(月) 19:00～ ●弦楽器専攻・コース生 ●常翔ホール(OIT梅田タワー3階) ●一般入場可 ●1000円(全自由席) ※高校生以下は無料招待

### 大阪音楽大学 第52回 吹奏楽演奏会

3/6(土) 18:00～ ●指揮: 高昌帥、吹奏楽: 大阪音楽大学吹奏楽団 ●ザ・シンフォニーホール ●一般入場可 ●3500円(全指定席) ※高校生以下は無料招待

### ミュージカル・コース 第10回公演

① 3/12(金) 18:30～、② 3/13(土) 13:00～、③ 同18:30～、④ 3/14(日) 14:00～ ●ミュージカル・コース生他 ●OH ●学内関係者および出演者の関係の方のみ入場可 ●前売2000円、当日2500円、高校生以下1000円(全指定席)

### 大阪音楽大学短期大学部

2020年度 卒業演奏会  
3/15(月) 時間未定 ●2020年度卒業の成績優秀者 ●OH ●学内関係者および出演者の関係の方のみ入場可 ●無料(要 電子チケット)

### 大阪音楽大学

2020年度 卒業演奏会  
3/15(月) 時間未定、3/16(火) 18:00～、3/17(水) 18:00～ ●2020年度卒業の成績優秀者 ●OH ●学内関係者および出演者の関係の方のみ入場可 ●無料(要 電子チケット)

可 ●無料(要 電子チケット)

### 大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部 ジュニア吹奏楽団演奏会

3/21(日) 15:00～ ●指揮: 小野川昭博、福原隼人 吹奏楽: 大阪音楽大学・大阪音楽大学短期大学部ジュニア吹奏楽団 ●OH ●学内関係者および出演者の関係の方のみ入場可 ●無料(要 電子チケット)

### 大阪音楽大学管弦楽団 スプリング・コンサート

3/23(火) 19:00～ ●指揮: 新通英洋、管弦楽: 大阪音楽大学管弦楽団 ●OH ●学内関係者および出演者の関係の方のみ入場可 ●無料(要 電子チケット)

### 大阪音楽大学後援演奏会

#### [C] Vol.2 / [立方C] 第二回演奏会

1/29(金) 19:00～ ●Sop: 太田真紀、Vc: 田代直子、Pf: 中村圭介、作曲: 近藤浩平、清水慶彦、松浦伸吾 ●豊中市立文化芸術センター 小ホール ●3000円 ●info@rippou-c.net

#### 演奏家+作曲家コラボレーションシリーズ

佐藤洋嗣コントラバスリサイタル  
2/12(金) 19:00～ ●豊中市立文化芸術センター 多目的室 ●一般2500円、学生1000円 ●03-6417-0393 (日本現代音楽協会)

#### 大阪音楽大学ピアノ専門特殊研究4

年生によるジョイントコンサート  
2/15(月) 19:00～ ●境彩希、馬場葵 ●ヤマハミュージック大阪なんば店 2F サロン ●会員/学生1800円、一般2300円(当日各+500円) ●06-6531-8155 (ヤマハミュージック大阪なんば店)

#### 大阪音楽大学ピアノ演奏家特別コース

3年生によるジョイントコンサート  
2/16(火)、3/3(水)、4(木) 全日程19:00～ ●薄木咲良、西野きらら、井垣菜々子、中野琢斗、小坂夏鈴、豊留麻由 ●ヤマハミュージック大阪なんば店 2F サロン ●会員/学生1500円、

一般2000円(当日各+500円) ●06-6531-8155 (ヤマハミュージック大阪なんば店)

#### グリーンホール フェアウェル・コンサート

3/21(日) 14:00～ ●指揮: 園田隆一郎、Sop: 石橋栄実、Alt: 荒田祐子、Ten: 小餅谷哲男、Bas: 田中勉、管弦楽: ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 ●グリーンホール(箕面市立市民会館) ●無料招待400名(箕面市内在住・在職・在学の方限定) ●072-723-2525 ((公財)箕面市メイプル文化財団)

#### オペラ物知り講座 in ひこね Vol.13

『夕鶴』編  
4/4(日) 14:00～ ●お話: 中村敬一、ソリスト: 斉戸英美子、鳥影聖人、福嶋勲、林隆史、合唱: 阪阪法子、彦根の子どもたち、Pf: 内藤典子 ●ひこね市文化プラザ エコーホール ●2800円(当日2990円)、前売限定 ペア5000円 ●0748-42-6905 (飯川)

#### 北野裕司 & 久保美緒

ピアノデュオリサイタル vol.1  
4/18(日) 14:00～ ●豊中市立文化芸術センター 小ホール ●一般3000円、大学生・付属音楽院会員・幸楽会会員2000円、小・中・高校生1500円 ●03-6806-7108 (一般社団法人東京国際芸術協会)

#### 幸楽会後援演奏会

#### アマービレホールで聴く ワルドル・ツァー

1/30(土) 11:00～、②13:00～、③15:00～ ●Pf: 乾将万、塚本美香 ●アマービレホール ●各回500円、3公演通し券1200円 ●080-4761-6820 (INUI MUSIC SALON)

#### イタリア声楽協会 第7回コンサート

3/27(土) 14:00～ ●声楽: 雨宮咲子、喜多真美、津田佳子、西影星二、安田定柄 他 ●うはらホール ●2500円(当日+500円) ●078-595-8946 (イタリア声楽協会)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、公演が中止または延期になっている場合がございます。必ず主催者発表を確認してください。

OH: ザ・カレッジ・オペラハウス MH: ミレニアムホール ※必ず主催者発表のものと同照してご確認ください。



第2回 大阪音楽大学ミュージッククリエーション専攻

## Music Creation Awards

YouTube Liveにて無観客オンライン生配信

2021年2月11日(木祝)

15:00開始(観覧無料)

出演: ミュージッククリエーション  
専攻2期生 他



観覧はこちらから

次号は2021年4月15日発行予定です。

MUSEJの住所・氏名変更の手続きについて ▶変更前と変更後の住所や氏名(よみがな)を大学へお知らせください。メール([muse@daion.ac.jp](mailto:muse@daion.ac.jp))かFAX(06-6334-2141)で受け付けております。 ※郵便局の転送サービスは期間が終わると配達されなくなります。

最新情報を配信中!

右記のSNS配信サービスでも大音情報をチェックできます。



公式FB @occm\_l daion\_insta



**[オーケストラ／吹奏楽]  
「授業配置図」を作成し、  
距離の確保を徹底**

さまざまな楽器で編成されるオーケストラや吹奏楽では、限られたスペースの中に奏者が密集することになります。大音の管弦打では、演奏者同士、指揮者と演奏者間、また、トランペットとトロンボーンの前方の演奏者との間隔は、可能な限り距離

を確保し、演奏中にマスクを外す管楽器は、飛沫感染予防のため奏者間にパネルを設置することを基本的な感染予防対策としています。また、教室ごとに楽器の配置を記した「授業配置図」を作成し、授業前の楽器配置の参考として活用しています。

**授業・レッスンなどにおける感染予防対策**



**[合唱]**

**学生の配置を見直し、マスク着用で歌唱**

前期は学生一人一人の歌唱動画を編集するリモートコーラスを実施。対面授業が再開した後期からは、学生の配置を従来の「コ」の字型から横一列に変更し、前後左右の間隔をしっかりとった上で、マスクを着用したまま歌唱を行っています。また、人数が多いクラスは2つに分けて授業を実施。なお、可能な場合はザ・カレッジ・オペラハウスも活用しています。



**[オペラ]**

**感染の危険性を考慮した演出**

音楽稽古は学生同士の間隔をとり、パネルを設置して実施。演技指導の授業では教員や学生など、全員マスクを着用し、適宜こまめな換気も実施しています。演者同士が接触するシーンはあるものの、向かい合って歌うなど危険性の高い演出は避けています。

**各種演奏会・イベント  
などにおける感染予防対策**



上. 非接触体温計: AI体温検知システムを搭載した自立型非接触体温計を導入。1メートルほどの距離で体温の計測が可能です。  
下. オゾン発生器: 主にザ・カレッジ・オペラハウスやミレニアムホール、大教室での演奏会やイベントなどの終了後、ホール内全ての除菌作業を行います(ホール・教室が無人の状態で行います)。



本学で行われる各種演奏会・イベントでは、手指消毒、マスク着用の徹底、清掃・除菌作業、積極的な換気、電子チケットを導入し、客席50%以下で実施。出演者やスタッフについても手指の消毒、検温を実施するとともに、演奏時以外のマスク着用を義務付け(演奏時は励行)、管楽器の結露水対策を徹底するなど、健康管理に努めています。また、上記の機器を新たに導入し、感染予防対策に取り組んでいます。



**新型コロナウイルス発生以降の大音の経緯**

**2月**

学生・教職員に対する注意喚起と感染が疑われる場合についての対応を発信

**3月**

学生の学内立ち入りを禁止

各種演奏会や入学選抜関連イベントを中止

新年度の授業開始を4/25に変更

**4月**

**緊急事態宣言発令(4/7~5/21)**

授業開始を5/16まで延期

授業再開までの期間中、ポータルサイトを利用した「#エアドAION」で教員からのメッセージを配信

各種演奏会や入学選抜関連イベントを中止

**5月**

5/16から遠隔授業を開始。学習環境整備のため、在学生全員に1人あたり5万円の遠隔授業推進支援金を給付

5/25から学内立ち入り禁止を解除。感染予防対策を講じながら段階的に対面授業を再開

**6月**

感染予防対策を講じて授業関係の発表会を再開(入場は関係者のみ)

**7月**

前期実技試験に向けて、7/15からP・K号館のみ練習室の複数名利用を許可

**後期**

7割の授業を対面で実施

大音独自のガイドラインによる対策を講じ、合唱や大編成のオーケストラ、吹奏楽の授業も再開

10月下旬から、感染予防対策を講じて主催公演を再開(入場は関係者のみ ※学外公演は一般入場可)

コロナの時代でも

**生の音楽を届けたい!**

新型コロナウイルスのまん延により、さまざまな影響を受けた2020年。音楽を含めた社会活動が徐々に日常を取り戻しつつある中、生の音楽を奏で、届けられる喜びを胸に演奏会に臨む学生たちの姿に迫りました。

## 上野星矢 [フルートソリスト]

管楽器(フルート) 准教授

### 華やかで奥深いフルートの世界を感じてほしい

2019年秋の就任後、2020年3月に予定されていたリサイタルが中止になったため、今回の定期演奏会が大音で初の演奏会になります。ソリストとして演奏する「フルート協奏曲」は、日本や東洋の音楽に使われる五音階など東洋を連想しやすい音づかいが特徴。日本の田園風景をイメージできるメロディーは親しみやすく、曲中に散りばめられた超絶技巧によってフルートの特性を堪能できる曲です。オーケストラをバックにしても感じられる存在感やシンフォニックな響きなどフルートの奥深さが伝われば良いと思います。また、学生との共演を通して音楽へのモチベーションになるようなエネルギーを与えられればと思いますし、私自身も学生からエネルギーをもらいたいと思います。

“生演奏”が社会から消えた今年、演奏者や聴衆にとってライブ演奏やコンサートホールで音を聴くことへのありがたみを改めて感じたことと思います。ホールまでの道中や開演を待つ時間、演奏後の余韻を含めて楽しめるのはリモートにない魅力です。こうした音楽活動が生活に寄り添い、不可欠なものだと再認識されることを願っています。



© 飯島隆



「L'Instant」のオーボエソリスト大島弥州夫講師

## 高木日向子 [作曲]

作曲 講師

### 音楽を共有する素晴らしさ再認識する機会に

2019年のジュネーブ国際音楽コンクール以来、日本初演となる「L'Instant」は、一管編成という小編成であり、学生にとっては普段触れる機会の少ない現代音楽。演奏面の苦労は多いと思いますが、授業やリハーサルで一人一人が曲ときちんと向き合ってくれている姿に頼もしさを感じました。

大音の作曲専攻で学んでいた学生時代、私にとって定期演奏会に関わることができない憧れの舞台でした。いつも客席で聴いている側だった演奏会で、自分自身の作品を演奏していただけることをとても光栄に感じています。

自粛期間中、リモート演奏用の作曲依頼を受けたのですが、リモート演奏をイメージすると筆がなかなか進まず苦戦しました。この経験が、私にとって音楽は一つの空間でなければ実感できないものだと思ふきっかけになりました。今回の定期演奏会も、一つの空間で音楽を共有する素晴らしさを演奏者や聴衆が再認識できる機会になれば良いと思っています。

### ●第63回 定期演奏会

# ANNUAL CONCERT

## 世界のマエストロが紡ぐ、日本人作曲家の世界

本公演は2020年12月11日(金)に終了しました。  
取材は演奏会前に行いました。

## 井上道義 [指揮]

### 一人の挑戦者として 難解な現代音楽と向き合う

肉も魚も生で食べるのは危険、だけどおいしい。音楽も同じで、目の前で奏でられる生のコンサートこそが音楽体験の中心であり、かけがえがないものと思っています。コロナ禍で慎重な行動が求められる昨今ですが、やりたいことをできる自由こそが生きているということ。一度しかない人生、その価値は誰かに決められるものではなく、自ら経験することでしか高めることはできないと私は考えています。

今回の定期演奏会は全曲日本人作曲家の作品によるプログラムです。多くの音楽関係者が苦しい状況にある今、私自身も全身全霊をかけて振らないとできない曲という視点で選曲しました。体力も集中力も持続するのは大変ですが、若い学生たちに負けたくないという気持ちで振っています。作曲家が「俺の曲はすごいだろう」と演奏者に挑戦してくるような現代音楽の音型や難解な変拍子を、学生たちはゲーム感覚で楽々と乗り越えてきます。音色感や周りの音との関係性について説明はしますが、指揮を通して何かを教えるという考えは全くありません。私も一人の挑戦者として、学生と一緒に難解な“埋蔵文化財”を掘り起こしているような感覚です。

「この曲は好きだ」「難しい曲だ」——さまざまな印象を持たれる中で、聴衆の皆さんには「今日ここで、演奏者たちは何を伝えようとしているのか」ということも一緒に考えてほしい、このように私は願っています。





●2020年度  
ポピュラー・コース・コンサート

# POPULAR

幅広い世代が楽しめる  
筒美京平作品メドレーも

日時：1月27日(水) 18:00～  
場所：サンケイホールブリーゼ  
料金：全自由席1,000円  
(高校生以下は無料招待)



コンサートの詳細と  
チケットの  
お申込はこちら



## 牛黄 蒼真奈

ポピュラー・コース(フルート)・短2

コロナの影響感じさせない、  
楽しいステージに

今回のコンサートではインストゥルメンタルの3曲を担当します。それぞれジャンルの違う曲なので、どう仕上がるかが自分自身も楽しみ。中でもバラードはシンプルな曲調で、原点に帰るような曲。自分なりの色を出せたらいいなと思っています。

自粛期間中は自宅でウインドシンセサイザーの練習に没頭していました。わずか数カ月でも学校に行けないことが技術的に響くのではないかと不安だったので、授業再開は本当にうれしかったです。今はバンドで音を合わせられる喜びを感じながら、みんながポジティブに、そして熱心に練習しています。

コンサート本番も収容人数を減らすなど感染予防対策の影響があると思いますが、そうした要素を感じさせないぐらい、楽しいコンサートにしたいです。



## 西野菜 千夏

ポピュラー・コース(ヴォーカル)・短2

自粛期間に感じた、心を磨く大切さ

学校が閉鎖された当初は少し落ち込みましたが、一回立ち止まることでそれまでおろそかにしていた部分が見えてきました。歌手の感情や心の奥底が表れる歌の世界。聴く人の心に響かせるため、今は私自身の心を磨く大切さを感じているところです。

短大に入って2年、あっという間に学生生活最後のコンサートになりました。本番で歌う2曲は、私らしいアップテンポの明るい曲を選びました。それぞれわずか数分の曲ですが、仕上げるまで何時間もかけてバンドのメンバーと作り上げてきたプロセスが詰まっています。大好きな仲間たちとともに、いつまでも自分の中に残る最高のコンサートにしたい。そして、聴いてくださった方が「明日も頑張ろう」と思えるパワーを届けたいと思っています。



## 井谷 珠綺

[コンサートマスター]

弦楽器専攻(ヴァイオリン演奏家特別コース)・大4

「音楽の力」が伝わる演奏会にしたい

非常時には真っ先に排除される芸術活動。2020年の3月以降、私も出演予定だった演奏会がなくなり、無力感を感じるとともに音楽活動に対する自信も失いかけていました。そうした中、足を運んだプロの演奏会で聴衆から贈られる温かい拍手に触れ、「私も演奏する側に入りたい」と前に進む勇気をもらいました。コンサートマスターとして臨む今回の定期演奏会。今まで触れたことのない現代音楽に苦戦していますが、心掛けているのは「迷わない」こと。指揮者の一番近くにいる立場として、目指す音楽を察知して瞬時に音楽に生かす——本番中も刻々と変化する状況の中で臨機応変に対応できる準備を意識しています。

大学の定期演奏会は学生の成果発表の場でもありますが、聴衆は音楽を求めて来られます。私が勇気もらったように、聴く人に音楽の力が伝わる演奏会にしたいと思います。

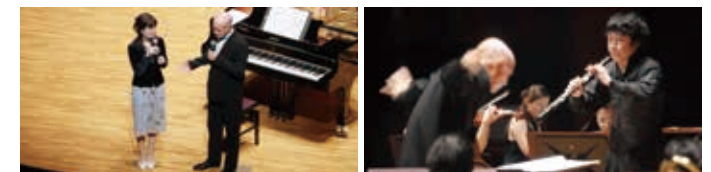
## 大阪音楽大学第63回定期演奏会

12月11日(金)、ザ・シンフォニーホールにて、第63回定期演奏会が開催されました。指揮に井上道義氏を迎えた今回は、2019年に開催されたジュネーブ国際音楽コンクールの作曲部門で見事優勝を果たした高木日向子講師の「[L'Instant]」をはじめ、全曲日本人作曲家の作品によるプログラムが演奏されました。

日本初演となった「[L'Instant]」では、作品のモチーフとなった画家・高島野十郎の「蠟燭」で描かれている、燃え続ける蠟燭の火のほのかな揺らめきを、絶妙なニュアンスで繊細に表現しました。大島弥州夫講師が奏でるオーボエの奥行きのある音色からは、火のぬくもりが手に取るように伝わってきました。

続いて披露された尾高尚志「フルート協奏曲 作品30b」では、上野星矢准教授が奏でる鮮やかなフルートの音色が楽団をリードし、クラシック音楽でありながら日本の心が感じられるメロディーを情緒たっぷりに演奏。どこか懐かしさのある響きで会場を包み込みました。

プログラム後半は、武満徹「グリーン」と三善晃「交響三章」という二つの名曲を披露。「グリーン」のもつ広大なイメージを彩り豊かな音色で描き出すと、「交響三章」では重厚感を湛えたメリハリのある演奏を聴かせました。ヴァイオリンの最後の音が消えゆく中、緊張感のままに演奏会は終演。コロナ禍という厳しい状況に屈することなく、見事な演奏を披露した学生たちに、聴衆からは万雷の拍手が贈られました。



©飯島隆



## 深田真琳 [カローナ役]

声楽専攻(オペラ系)・院1

### 緊張感を切らさず、無事に本番を迎えたい

「秘密の結婚」は登場する3人の女性の個性の違いが面白い作品で、大学4年生の時にも一度経験した演目です。今回は感染予防対策としてキャスト同士向かい合って歌うことができないため、正面を向いて演技や会話をする難しさはありますが、表現の手法として学ぶ点も多くあります。新型コロナウイルスの状況は予断を許しませんが、日々の生活でも緊張感を持って無事に本番を迎えたいです。



## 井原広樹 [演出]

声楽 客員教授

### 沈滞する世の中を元気にする、明るく楽しいオペラ

今回上演する「秘密の結婚」はチマローザ作の喜歌劇。典型的なオペラ・ブッフを、イタリア的な声楽処理でアプローチ可能な作品で、世の中全体が元気をなくしかけている今、観ていただいた方に少しでも明るい気持ちになっていただければと思っています。演出として、歌と演技というオペラの本質的な部分は変えていませんが、稽古でのマスク着用や消毒、換気など必要な対策は実施しています。「何としてでもやる」という意識を切らすことなく、状況に応じて変えるべき部分は柔軟に変えていきます。

結果だけが問われるプロの世界と違い、学生はさまざまな困難さや苦労を経験することも大切なプロセス。作品自体をしっかり学んでもらうと同時に、コロナ禍という困難にどう立ち向かっていくかということも学んでほしいと思っています。

# OPERA ●第32回 学生オペラ

## チマローザの代表的喜歌劇 「秘密の結婚」

日時：2月19日(金)、2月21日(日) (いずれも14:00～)

場所：ザ・カレッジ・オペラハウス

※学内関係者および出演者の関係の方のみ入場可



## 安江陽奈子 [エリゼッタ役]

声楽専攻(オペラ系)・院2

### 学生生活最後に、最高の舞台を作りたい

自粛期間中は「この先も好きな歌を歌い続けられるのか」と不安がありましたが、各地で徐々に再開される舞台などを見て「私も頑張ろう」と前向きな気持ちになりました。本演目は誰が見ても楽しめる喜劇。チマローザのメロディーからそれぞれのキャラクターのハラハラドキドキ感が伝わるといいます。私にとっては今回の学生オペラが大音生として最後の舞台になります。感染予防に努め、最高の舞台にしたいです。

## 小橋新大

[コンサートマスター]

管楽器専攻(クラリネット)・大4

### 学生のエネルギーが満ちた音を届けたい

自粛期間中は「この先、音楽で食べていけるのか」と、本当にいろいろなことを考えました。「就職」も頭をよぎる中、自分自身と向き合い、出した答えは「やっぱり音楽しかない」というもの。そこからはもう一度曲を勉強し直したり、いろいろな本を読んだり、今までできなかった“寄り道”をする時間に充てることができ、むしろ充実していたと感じています。そうした時期を経て再会した仲間との演奏は「俺たち上手くなってないか?」と感じるぐらい、すごく気持ちが入っていてエネルギーに満ちています。そうしたみんなの思いが詰まった演奏会で、生演奏の魅力を再認識できるような音を届けたいことが私の役目。高先生の作品を深く掘り下げ、聴衆の皆さんが「なるほど、そういうことだったのか!」と作品の世界観を感じ取れる演奏をお届けしたいです。



## 新堂帆士斗 [打楽器ソリスト]

打楽器専攻・大4

### 自分らしい演奏で会場に“雷鳴”を轟かせる

今回の演奏会でソリストを務めるのは、「雷神〜ソロ・パーカッションとウインドオーケストラのための協奏曲」。夜の静けさを思わせる前奏から始まり、音を増やしながら徐々にテンポアップしていく曲で、変拍子や臨時記号を多用しながらパーカッションで表現する雷鳴がヒートアップしていく様子は、演奏する側も聴く側も自然にテンションが上がります。ソリストのオーディションに向けては、参考音源はなるべく聴かず、体全体を使った演奏やリズムごとのキャラクターづけといった自分の特徴を表現することを意識しました。これまでのコンサートでは楽団全体を後方で支える立場でしたが、今回は最前列で楽団を引っ張る立場になります。多くの人に音を直接届けられる喜びを感じながら、ソリストとして、また打楽器専攻の代表として、私らしさを存分にアピールしたいと思います。

### ●第52回 吹奏楽演奏会

# WIND ORCHESTRA

## 高昌帥作品の世界観を 堪能できるプログラム

日時：3月6日(土) 18:00～

場所：ザ・シンフォニーホール

料金：全指定席3,500円

(高校生以下は無料招待)



演奏会の詳細と  
チケットの  
お申込はこちら



01



### 8カ月遅れの晴れ舞台 2019年度卒業演奏会

11月13日(金)～15日(日)の3日間にわたり、2019年度卒業演奏会が行われました。当初3月に予定されていた本公演は、新型コロナウイルス感染症流行の影響を受け、一時は中止と発表されていましたが、何とかして開催したいという本山秀毅学長らの強い思いから、8カ月延期という形で開催する運びとなりました。

出演者は2019年度に本学を優秀な成績で卒業された方々で、現在は進学している方、社会人として勤務されている方などさまざまです。本来であれば在学中の開催となるはずでしたが、8カ月という時が流れたことで、残念ながら出演がかなわなかった方もいらっしゃいました。本公演には3日間で34人の卒業生が出演。

クラシックからジャズ、ポピュラーまで多彩な演奏が披露されました。その一音一音が音楽を奏でることのできる喜びに満ちあふれていて、心から楽しんでいる様子がありありと伝わってきました。会場にはあたたかい拍手が響き渡り、出演者、観客ともにまたとない特別な感動を共有できた演奏会となりました。



02



©植村耕司

### ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 第58回定期演奏会

12月19日(土)、ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団第58回定期演奏会がザ・カレッジ・オペラハウスにて開催されました。牧村邦彦氏による指揮のもと、ワーグナー「ジークフリート牧歌」、ラヴェル「ピアノ協奏曲 ト長調」、チャイコフスキー「交響曲第6番 口短調 作品74 (悲愴)」の3曲を披露しました。

澄んだ音色で長閑な自然風景を思わせる「ジークフリート牧歌」に始まり、続く「ピアノ協奏曲 ト長調」では、管弦楽の魔術師と称されるラヴェルらしく、さまざまな音楽様式が顔を出す高度な作品をユーモラスに表現。大学院2年の河島利香さんによる生き生きとしたピアノの音色がオーケストラと緻密に絡み合い、華々しく響き渡りました。

プログラムの最後はチャイコフスキー「交響曲第6番 口短調 作品74 (悲愴)」。暗く重い曲調が現在の世情を表しているようにも感じられ、標題の通り、悲愴感が滲んだ音色が印象的でした。演奏は静かに張り詰めた空気をもって幕を閉じ、牧村氏が指揮を終えると割れんばかりの拍手が贈られました。



### 細川涼介

ジャズ専攻(トロンボーン)・大4

「ジャズ・コンサート」出演



国内第3波も報道され、憂慮に堪えない状況の中、こうして演奏の機会をいただけることに、関わってくださる方々の慮りを感じ、学生一同一層気の引き締まる思いです。コロナ禍においても常に明敏な判断を欠かさなかった関係者の方々への感謝を胸に、精いっぱい演奏しますので、皆さまお越しいただければ幸いです。

### 南部実子

ピアノ専攻(ピアノ演奏家特別コース)・大4

「ピアノ演奏家特別コース修了演奏会」出演



音楽は演者と聴衆が同じ空間・同じ時間で感動を共有することに魅力があると思っています。新型コロナウイルスの影響で、改めて今までの環境がいかに恵まれていたかに気づき、自身と音楽を見つめ直す貴重な時間になりました。修了演奏会後のみんなの進路はさまざまですが、4年間共に音楽を学んだ仲間と最高のステージにしたいと思っています。

### 濱本麻衣

電子オルガン専攻・大3

「第29回 電子オルガン&作曲デザイン・コンサート」出演



このような状況の中で、大きなステージで演奏する機会を頂けたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。電子オルガン専攻、そして今年度開設された作曲デザイン・コース、それぞれの魅力を感じていただけるような、そして楽しい時間を過ごしていただけるようなコンサートを作り上げていきたいです。

### 栗谷桜子

ミュージカル・コース・短2

「ミュージカル・コース 第10回公演」出演



新型コロナウイルスの影響で、今まで当たり前だったことが、当たり前でなくなることを思い知らされました。だからこそ舞台に対する思いが強くなった一年間。その思いを届けたいと思っています。私たちの熱い気持ちが詰まった卒業公演、今は上演できることを願って、一日一日を大切に過ごしたいと思います。

### 副田小夏

打楽器コース・短2

「ジュニア吹奏楽団演奏会」出演



大学への立ち入り禁止や演奏会の中止は、音と共に打楽器生私の私から練習する場も奪われました。自粛明けの吹奏楽再開は「人と合わせることはこんなにも楽しくて難しかったかな」と戸惑いながらも、みんなと音を作り出す喜びを再確認しながら練習しています。人に音楽の魅力を伝えられる環境に感謝しながら音を出せる喜びいっぱい演奏します。

### おみ 浜脇穂充

管楽器専攻(ファゴット)・大4

「第52回 吹奏楽演奏会」出演 [インスペクター]



新型コロナウイルスの流行は音楽業界の“当たり前”に、大きな変化をもたらしました。特に、編成の大半が管楽器から成る吹奏楽は厳重な注意が必要で、演奏への支障がありつつも徹底した感染予防対策を採りながら合奏を行っています。どうかこの状況が一刻も早く終息し、現代の音楽界にも再び“陽が昇るとき”が訪れることを祈ります。

### あさひ 岩松彩妃

弦楽器専攻(コントラバス)・大4

「ザ・ストリング・コンサート」出演



コロナが流行り始め、オンラインでの活動がかなり増えてきて音楽家としてどうやって生きるかを考えました。これから先もウイルスのことを気にかけて生活しなければならぬと思います。今、演奏会ができること自体が幸せなことだと改めて実感しました。最後の演奏会、しっかりと対策もしつつ、音楽ができる幸せをかみ締めて演奏します。

### 梅原綾花

作曲デザイン・コース・短1

「第29回 電子オルガン&作曲デザイン・コンサート」出演



大音に入学して、初めて作曲を志している友だちができました。コロナ禍でなかなか会えず、コンサートの準備がうまく進められないことありますが、一人一人の音楽への情熱が集まれば、きっと特別なコンサートになると思っています。私もその一員として、本番当日まで作品に向かいます。ぜひ、作曲デザイン・コース一期生の初舞台を観に来てください!

06



第74回全日本学生音楽コンクール  
全国大会 声楽部門大学の部

院1・声楽  
野口真瑚さんが、  
第1位および横浜市民賞、  
佐々木成子賞を受賞!

▶2020年11月26日 横浜みなとみらい 小ホール

この度、第74回全日本学生音楽コンクールにおいて第1位、同時に横浜市民賞、佐々木成子賞を受賞いたしました。学部時代から受けていたコンクールで、今回3度目の挑戦でした。やっと目に見える形で結果を残すことができ、大変うれしく思います。これからも私を支え、応援してくださる方々への感謝を忘れずに日々精進してまいります。

05

NEW RELEASE

大音関係者がリリースしたCD・本・楽譜など。



原山智子(88年度大卒・ピアノ)

Desafio 中南米を音楽で旅する～  
アルゼンチン・キューバ・ブラジル作品集

2,750円(税込) 徳間ジャパン Amazon、タワーレコード他

07

キラリ輝く大音の星 各種コンクールで受賞された皆さん。



南部 実子  
(大4・ピアノ演奏家特別)  
第1回  
Pianissimo  
Concours  
大学生・一般部門  
金賞

▶2020年8月8日  
茨木市民総合センターホール  
(クリエイティブセンターホール)



前田 恵里  
(短専・クラシックギター)  
第48回  
山口ギターコンクール  
グランプリ部門  
第2位

▶2020年8月16日  
下関市生涯学習プラザ2F  
風のホール



加古 彩子  
(大2・ピアノ演奏家特別)  
第44回ビティナ・  
ピアノコンペティション  
Pre特級  
銅賞・聴衆賞

▶2020年8月20日  
第一生命ホール



藤本 真希  
(大2・ホルン)  
第23回“長江杯”  
国際音楽コンクール  
管楽器部門 大学の部  
第2位

▶2020年8月20日  
豊中市立文化芸術センター  
小ホール



宮本 ありさ  
(大3・ピアノ)  
コロナに負けない  
京都文化力祭コンクール  
ピアノ部門  
一般・大学生の部  
第3位

▶2020年8月23日  
ロームシアター京都  
メインホール



吉本 結妃名  
(大2・ピアノ)  
第30回バルレッタ市  
国際少年  
音楽コンクール  
ピアノ部門 Eカテゴリー  
第1位

▶2020年9月25日  
オンライン(イタリア)



田野 萌子  
(大3・ピアノ演奏家特別)  
第30回バルレッタ市  
国際少年  
音楽コンクール  
ピアノ部門 Fカテゴリー  
第2位

▶2020年9月25日  
オンライン(イタリア)



香川 梨佳  
(院1・声楽)  
第21回  
大阪国際音楽コンクール  
声楽部門  
オペラコースAge-U  
第3位(1、2位なし)

▶2020年10月11日  
高槻現代劇場 中ホール



田久保 友妃  
(06年度大卒・ヴァイオリン)  
第21回  
大阪国際音楽コンクール  
弦楽器部門 Age-G  
エスポアール賞

▶2020年10月11日  
阿倍野区民センター 大ホール

08

星田一山講師(邦楽)が逝去

星田一山講師が2020年12月14日に逝去されました。1984年から非常勤講師として本学で勤務され、邦楽(尺八)を担当し、長きに渡り本学の教育のためにご尽力いただきました。ここに謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

03



鹿島正昭名誉教授  
令和2年秋の叙勲で瑞宝中綬章を受章

11月3日(火・祝)に発表された令和2年秋の叙勲で、鹿島正昭名誉教授が瑞宝中綬章を受章しました。鹿島名誉教授は、41年間の永きにわたって教育研究活動に力を尽くし、未就学児童のためのソルフェージュ教育に関する研究で成果を収めました。また、本学副学長や常任理事などを歴任し、長年にわたり公務に尽力したことが認められ、この度の受賞となりました。本来は皇居で伝達式が行われますが、新型コロナウイルス感染症流行の影響で中綬章等叙勲伝達式が中止になったため、中村孝義理事長から伝達されました。

本学教員の方が各種賞を受賞



渡邊秀之  
特任教授(管弦打)  
第44回井植文化賞  
(文化芸術部門)



北口大輔  
特任准教授(管弦打)  
令和2年度  
兵庫県芸術奨励賞



加藤完二  
講師(管弦打)  
伊丹市民文化賞



高木日向子  
講師(作曲)  
第3回尼崎市民文化未来奨励賞  
令和2年度咲くやこの花賞



木田雅子  
特任教授(管弦打)  
日本赤十字社  
金色有功章



中村孝義理事長が  
第55回大阪市市民表彰(文化功労部門)を受賞

中村孝義理事長が12月9日(水)発表の第55回大阪市市民表彰を文化功労部門で受賞しました。多年にわたり、音楽美学・音楽史の研究を重ね、教育に従事してきたほか、音楽評論活動やザ・カレッジ・オペラハウスでの公演制作にも携わり、本学の学長や理事長、各種財団や公的機関の役員、委員を務めるなど、音楽文化の振興と発展に貢献したことが評価され、この度の受賞となりました。

04



アンドレイ＝ガヴリーロフ氏 ピアノ特別レッスンを開催

11月17日(火)、18日(水)の2日間、ピアニストのアンドレイ＝ガヴリーロフ氏によるピアノ特別レッスンが行われました。ガヴリーロフ先生は1974年に18歳の若さでチャイコフスキー国際コンクール優勝。現在も世界中で精力的に演奏活動を展開されています。かつては演奏活動から離れ、哲学や宗教、新しい音楽のアプローチ方法を研究されていた時期もあるガヴリーロフ先生は、楽譜から読み取ることのできる思想や、作曲された時代背景、作曲家の特徴やおかれている状況など、音楽を奏でる前にそれらを理解しておくことの重要性について、哲学的視点も交えながら丁寧に話されました。また、「音楽はzipファイルであり、言葉数よりも圧倒的に少ない音数の中に複雑な感情を凝縮している」と興味深い解釈も述べられました。ガヴリーロフ先生の音楽的かつ論理的な手ほどきに、学生たちは終始熱心に聞き入っていました。